

まちづくり

# 進化論

Future of TAJIMA

図書館からのまちづくり

# 変わりゆく図書館

## 豊岡

(兵庫県)

人々の暮らしは豊かになり、余暇の時間も増え、人生80年を元気に生き抜く時代となりました。生涯学習や



交流を重視する世の中となり、図書館はどんどん変わりつつあります。単に本の貸し出しだけではなく、人々の憩いの場であったり、交流の場であったり、情報発信の場であったりと、とても多様化しています。

これからは、図書館がおもしろい。あなたの生活の中に、ぜひ図書館を取り入れてみてくださいます。人生の幅がぐっと広がることとしましょう。

平成11年4月、豊岡市の郷土資料館・長寿園の跡地に新豊岡市立図書館がオープンします。かわらぶきの和風建築でゆつたりとくつろげる落ち着いた建物で統一。

『近代的機能と歴史の香りをあわせもつ図書館』が誕生します。

① 但馬の中核都市にふさわしい機能を持った図書館

施設規模および蔵書について、但馬最大の図書館とし、AV機器、図書検索などコンピューターを利用し、豊富な図書情報の提供とサービスの充実した広域的ネットワークの中心となる図書館をめざします。

② 歴史的環境と調和した郷土資料の豊富な図書館

神武山、文学のこみち、京極邸、旧県庁正門など周辺の歴史的背景や周辺環境と調和させ、郷土資料の充実した図書館をめざします。

③ 生涯学習、市民交流、情報発信の拠点となる図書館

学校、公民館などの教育機関や民間団体と連携し、市民が気軽に学び、ふれあえる生涯学習、市民交流、情報発信の拠点となる図書館をめざします。現在、4万7000冊ある蔵書を



開館時には8万冊に、目標は12万冊。コンピューターも導入し、本の貸出返却の手続きや検索も迅速、簡単になります。しかし、基本的にめざすのは、「やさしい図書館」。身体障害者の方にも気軽に入ってもらえるような設計を心がけています。そして、誰でも気軽に立ち寄ることができる図書館をめざします。本を借りるだけでなく、そこから人と人の、人と本の出逢いが始まり、その輪が広がっていくことを望んでいます。

# 和田山

(兵庫県)

和田山町の文化ゾーンとして整備された和田山町中央文化公園の一面を担う和田山町立図書館は平成7年8月にオープンしました。外観は隣接する文化会館とデザインを統一し、一体感を持たせ、天井の高い館内は「家具の町」にふさわしいように床や書架に木材を使い、やわらかい雰囲気を出しています。サンと光が差し込む明るいブラウジ



ングルームは、心地よく読書ができるスペース。地域性を生かした「森はなコーナー」や「国際交流コーナー」が設けられています。

蔵書は、現在4万5000冊。パソコンを使った蔵書検索システムを導入し、利用者が自由に簡単に検索できるようになっています。平成8年5月には和田山町内の小中学校6校に検索用パソコンを設置し、運用を開始しました。子供たちは書名・著者名・出版社名などの項目を指でタッチするだけで、簡単に本を探ることが可能になりました。本の内容からも検索でき、例えば「サククラ」という文字を入力すると関連する図書の一覧が出てくるので、学校にしながら借りたい本の下調べができ、とても便利になりました。覚えの速



いろいろな楽しい行事やイベントが行われる



子供たちのこと、意欲的に活用し役に立っているそうです。

また、パソコン通信も6月から開始し、現在登録者25名。一般の方も登録すれば自宅のパソコンから、本の検索ができますよ。

たくさんの人に図書館を知ってもらい、利用してもらうために、講演会や人形劇などいろいろな行事・イベントを行っています。特に人気が高いのは、毎週土曜日2回実施して

タッチパネルで誰でも簡単に本の検索ができる



いる「お話し会」。町内の保育所へも巡回し、楽しいお話しを聞かせてくれます。これからは、幼稚園・小学校へも広げていきたいと意欲満々。

緑がいつぱいの和田山町中央文化公園は憩いの場として、町民の皆さんに親しまれています。木陰で本を広げる親子の姿も見られ、文化ゾーンとしての相乗効果も現れてきているようです。

現在、但馬では図書館同士のネットワークを組もうという動きが出ています。それぞれの図書館の特徴を活かしながら、お互いに助け合える部分は助け合っていく。大切なことですね。

# まちづくり 進化論

## 浜坂 (兵庫県)

個人名のついた図書館は兵庫県下でも数館しかない、珍しい図書館です。加藤文太郎とは浜坂町が生んだ偉大な登山家。小説「孤高の人」のモデルになった人物です。



平成6年10月に開館した浜坂町立加藤文太郎記念図書館は、彼がかげめぐった山々をイメージしてつくられました。高い山が二つ並ぶ外観。館内も山のイメージが随所にちりばめられています。中央天井から光を採り入れ、柱のない空間や吹き抜け空間によって、ゆとりのある雰囲気の中で本

## 太子 (兵庫県)

太子町立図書館は昭和58年5月に開館し、現在は13万冊の蔵書を備えています。この13万冊という破格の数字が物語るように、開館当時からストーリーテリング（昔話や物語を素語りすること）や移動図書館を取

加藤文太郎の資料や山岳図書がどっさり



を楽しむことができます。

郷土が生んだ偉人の名前を付けたことで、浜坂町民の人々に広く知ってもらえたことは、それだけで価値があったといえます。

2階フロアには「加藤文太郎記念資料室」があり、文太郎が使ったスキーなどの道具や手帳、写真・資料が展示され、彼がどんな登山家であったのか、その足跡をたどることができます。

り入れ、近代図書館活動の草分け的な存在として名を知られる図書館です。

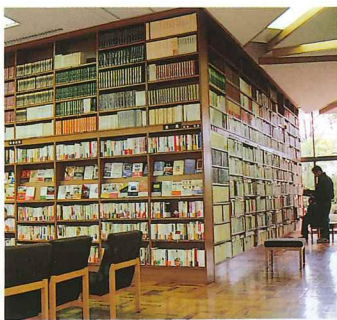
太子町立図書館では本の貸出返却にはコンピューターを使っていきます。先のことはわからないと言いながらも、これには理由があるのです。図書館とはカウンターをはさんで利用者に向き合って、きちんと本を手渡すところ。そこから会話が生まれ、



また、「閲覧室」には山に関係する貴重な資料がたくさんあります。山岳の専門図書館は全国でも2

3カ所で大変珍しく、全国から山岳関係の人が訪ねてこられるそうです。できるだけ多くの町民の人々に利用される図書館をめざしたいと、移動図書館「ささゆり号」が町内各地を巡回したり、車椅子でも利用できるようにスロープやエレベーターが設備されています。

お話し会や、シネマの会、絵本の集い、手づくり工作などの行事も行い、町民の方の作品展なども行っています。コンピューター導入で検索や貸し借りも楽々。たくさんの人々に親しまれる図書館でありたいと、努力しています。



天井まで届きそうな書架にはびっしりと本が並び

さまざまな世界が広がっていくのです。図書館とは新しい出逢いの場所

平成8年度全国DM大賞コンクールに入選致しました。今後とも変わらぬご愛顧の程、お願い申し上げます。



朝野家 〒669-68 兵庫県美方郡湯村温泉 TEL.0796(92)1000 FAX.0796(92)2010 大阪直営案内所 TEL.06(314)0194



ニューメディアにも対応している



蔵書数は開館時約130

な憩いの場としての役割を担っています。

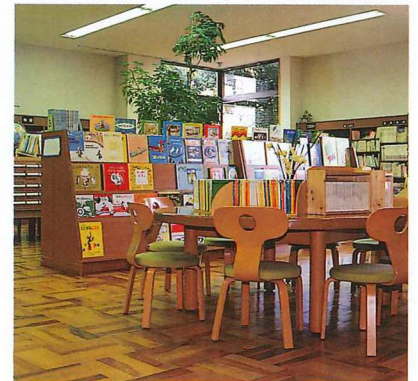
生涯学習・高度情報化時代にふさわしい総合的な図書館サービスをめざす大阪府立中央図書館は、平成8年5月オープンしたばかり。地下2階、地上4階の立派な建物には、文化芸術活動を育む多目的ホール「ライティホール」やレストランもあり、エリア的



移動図書館を待ちわびる人たちがいつもにぎわう

だからこそ、大切にしたいという気持ちの表れです。  
太子町立図書館の司書の皆さんは、入ったとき「利用者の名前を覚えなさい」と指導を受けたそうです。まず、来られる方々の名前を覚え、どのような本を借りられるかを知り、探されていた本が手に入れば、「〇〇さん、この本ありましたよ」と声をかける。これが図書館のきめ細やかなサービスだといえます。

ニューメディアへの窓口として、「オーディオ・ビジュアル室」を設け、音響映像AV資料を6000点以上も揃えています。また、「光ディスク・マイクローリダー室」では、貴重本などの資料を光ディスクで、新聞などをマイクロフィルムで見ることが出来ます。「データベース室」では、国立国会図書館、学術情報センターなどのデータベースの検索ができます。大阪府の行政情報提供システム(ONET24)に接続したパソコンやCDROM機器を設置しています。イ



図書館の仕事はとても地味ですが、利用者の一人ひとりと司書との

などからパソコン通信を使って、図書館資料の検索も可能になり、利用者サービスの高度化も図っています。府立図書館協力が週1回全市町村へ巡回し、協力体制がしっかりとできあがっています。  
大都市の図書館としての役割は幅広いものとなっております。大阪府全体の人々が心豊かな生活の場として活用できるようにと考えられています。



インターネットも計画されており、情報化時代への対応もますます充実していくことでしよう。  
市町村立図書館や各家庭

信頼関係をしっかりと築くことができれば、これが地域の信頼へと育っていきます。地域全体が信頼関係でつながれば、すばらしい町づくりができると思います。  
本の貸し出しの数字だけにとらわれるのではなく、基本的な本の貸し出し業務をきちんと積み上げていくことで確実な仕事ができる。13万冊という数字はそこから生まれてきた実績といえるでしょう。

# ホームページを楽しもう

ウノフク—BAG WORLD— <http://www.bag.co.jp/>  
カバンのことならおまかせの(株)ウノフク「BAG WORLD」。

株式会社 **ウノフク**  
UNOFUKU & Co., Ltd.

〒668 兵庫県豊岡市梶原328  
TEL.0796-23-1155 FAX.0796-24-0777

